

令和4年度 地理歴史科 「日本史総合」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	3年文系選択科目
教科書	新選日本史B（東京書籍）	副教材等	日本史のアーカイブ（とうほう）

1 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・日本と諸外国との外交関係を諸資料に基づき地理的条件や国内の政治や経済の動きと関連付けて理解する。 ・外交関係において特に対外戦争に着目して、その原因と影響について考察させることで、歴史的思考力を培う。 ・国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うとともに、平和を実現するためには何が必要か考察する。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	第1章 古代国家の形成と 貴族文化の誕生	①倭国の登場 ②邪馬台国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の国家形成に中国・朝鮮半島諸国が及ぼした影響について考察する。 ・中国の歴史書に記された倭国と中国王朝との関係について理解する。 ・邪馬台国と中国（魏）との関係について魏志倭人伝から読み解く。 ・東アジアの伝統的な国際秩序である冊封体制について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート提出 ・グループワークの取り組み ・小テスト ・発問評価 ・プリントによる提出課題 ・定期考査
5	2 大和王権	①東アジアの動き ②大和王権の勢力拡大 ③倭の五王	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5世紀の朝鮮半島諸国と大和王権との関係について中国の歴史書（宋書倭国伝）から考察する。 ・高句麗広開土王の碑文から大和王権の朝鮮半島での軍事行動について把握する。 ・倭の五王の中国王朝への遣使の意味について考察する。 	
6	3 飛鳥の朝廷	①東アジアの変化 ②遣隋使の派遣	<ul style="list-style-type: none"> ・6世紀の朝鮮半島の情勢と隋帝国の成立が及ぼした東アジアの変化について学ぶ。 ・遣隋使の派遣の目的と国内政治へ及ぼした影響について考察する。 	
6	4 大化の改新と東アジアの国際関係	①白村江の戦い ②天智朝の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・白村江の戦いの原因について理解し、敗戦の衝撃によって律令国家形成への歩みが加速したことについて把握する。 ・天智朝の政治改革について国際的契機との関連で理解する。 	
	5 律令国家の外交	①遣唐使 ②遣新羅使と遣渤海使	<ul style="list-style-type: none"> ・8世紀の東アジアの国際関係について遣唐使の派遣から考察し天平文化への影響について考察する。 ・8～9世紀の新羅と渤海との関係について学び、古代の帝国主義について把握させる。 	
	6 平安時代の対外関係	①遣唐使の停止 ②日宋貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・唐の衰退に伴う東アジア情勢の変化と遣唐使の停止を関連させて理解する。 ・平清盛による日宋貿易の実態について史料から読み解き、その歴史的意義について考察する。 	
	第2章 武家社会の形成と 生活文化のめばえ		<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉・室町幕府の対外政策について東アジア諸国との関係を中心に学習し、琉球・蝦夷地との関係についても着目させる。 	
	1 鎌倉時代の対外関係	①モンゴル帝国 ②蒙古襲来	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国の勢力拡大が日本を含めた周辺国への影響について把握する。 ・モンゴル襲来（元寇）の原因と結果について理解する。 ・モンゴル襲来を撃退できた一因として高麗をはじめ、周辺諸国民の抵抗があったことを把握する。 ・モンゴル襲来の国内政治への影響について考察する。 ・モンゴル帝国と琉球・アイヌとの関係について学ぶ。 	
	2 室町幕府の外交	①日元貿易 ②倭寇	<ul style="list-style-type: none"> ・足利尊氏・直義兄弟による天竜寺船の派遣の目的と結果について学ぶ。 ・倭寇の実態について理解し、彼らの活動が東アジアの権力再編を促したことを把握する。 	

7	期末考査	③勘合貿易 ③日朝貿易 ④琉球と蝦夷地	<ul style="list-style-type: none"> ・足利義満による勘合貿易の内容と意義について中国銭の流通と関連づけて理解する。 ・日本と朝鮮との外交関係について貿易の内容とともに理解する。 ・室町幕府と琉球と蝦夷地との関係について貿易活動を中心に学ぶ。 教科書P14～100	
9	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1 ヨーロッパ文化との接触 2 朝鮮侵略 3 江戸時代初期の外交関係 4 日本の「鎖国」体制 5 外国船の来航 第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1 開国 2 明治初期の外交 3 日本の近代化と東アジア	①ヨーロッパ人の来航 ①豊臣秀吉の強硬外交 ②朝鮮侵略の目的と結果 ①朱印船貿易 ②島原・天草一揆 ①「鎖国」体制 ②朝鮮通信使 ③琉球・蝦夷地 ①ロシア船の来航 ②イギリス船の来航 ③アメリカ船の来航 ④幕府の外国船への対応策 ①ペリー来航 ②日米修好通商条約 ③幕末の政局と諸外国との関係 ①岩倉遣外使節団 ②国境の画定 ③清と朝鮮 ①条約改正 ②日清戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代のヨーロッパ諸国との関係について学び、江戸幕府の外交＝「鎖国」体制について、その実態について理解する。 ・ヨーロッパ人の来航による西欧文化の流入が国内の政治・経済・文化に及ぼした影響について考察する。 ・豊臣秀吉の強硬外交について、その目的について学習する。 ・秀吉の朝鮮侵略（壬辰・丁酉倭乱（文禄・慶長の役））の目的と影響について考察する。 ・朝鮮侵略に抵抗した日本人がいたことについて着目させる。 ・江戸時代初期の江戸幕府の禁教政策と貿易統制の内容について学ぶ。 ・島原・天草一揆の原因と影響について考察する。 ・いわゆる「鎖国」体制の実態について四つの窓口で貿易が幕府の統制のもと行われていたことを学ぶ。 ・日本と貿易を行っていた国は通信国と通商国の2種類があったことについて理解し江戸時代の外交が「鎖国」とよばれるようになった理由について考察する。 ・長崎でのオランダ・中国との貿易について学ぶ。 ・朝鮮通信使の実態と江戸時代の人々との交流について学ぶ。 ・琉球と薩摩藩、蝦夷地（アイヌ）と松前藩との関係について学ぶ。 ・ラックスマンの来航と大黒屋光太夫の数奇な生涯について学ぶ。 ・レザノフの来航の目的と結果について学ぶ。 ・ゴローニン事件の内容と高田屋嘉兵衛の活躍について理解する。 ・フェートン号事件と当時のヨーロッパ情勢について理解する。 ・モリソン号事件の内容と結果について学ぶ。 ・外国船の来航の原因について考察し、幕府の対応策として出された法令について学ぶ。 ・明治維新後の近代国家の形成が朝鮮半島の植民地化、中国・東南アジアへの侵略戦争に突き進んでいった背景について考察し、その戦争のもたらした惨禍について理解する。 ・ペリーの来航の背景と日米和親条約の内容について学ぶ。 ・日米修好通商条約の内容と問題点、について学ぶ。 ・貿易の開始とその国内の政治や経済におよぼした影響について考察する。 ・幕府と薩摩・長州藩との主導権争いとイギリス、フランスとの関係について学ぶ。 ・岩倉遣外使節団の欧米諸国への派遣の目的と意義について考察する。 ・国境の画定の過程について学ぶ。 ・日清修好条規の締結と日朝修好条規締結の背景について学ぶ。 ・朝鮮に対する強硬政策である征韓論、軍事行動である江華島事件の内容について理解する。 ・条約改正の歩みについて学び、条約改正が明治時代の外交の最大の課題だったことを理解する。 ・日清戦争の原因について陸奥宗光の日記や参謀本部の史料から学ぶ。 ・日清戦争が朝鮮半島を植民地化していく第一歩だったことを理解する。 ・台湾の植民地支配の実態について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ノート提出 ・グループワークの取り組み ・発問評価 ・小テスト ・プリントによる提出課題 ・定期考査
10	3 日本の近代化と東アジア	①条約改正 ②日清戦争	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正の歩みについて学び、条約改正が明治時代の外交の最大の課題だったことを理解する。 ・日清戦争の原因について陸奥宗光の日記や参謀本部の史料から学ぶ。 ・日清戦争が朝鮮半島を植民地化していく第一歩だったことを理解する。 ・台湾の植民地支配の実態について理解する。 	

11	4 第1次世界大戦	③日清戦後の東アジア	<ul style="list-style-type: none"> 下関条約後、日本がアジアの憲兵として積極的な役割を果たしたこと（北清事変等）について理解する。 日本がイギリスと提携し、ロシアに対抗していった背景について学ぶ。 	
		④日露戦争	<ul style="list-style-type: none"> 日露戦争の背景と結果について学ぶ。 ポーツマス条約の結果、日本が朝鮮半島を植民地化していったことになったことを理解する。 日本の朝鮮半島植民地化の実態について学ぶ。 日本の大陸進出の過程と内容について理解する。 	
12	5 激動する世界と日本	①第1次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> 日本の第1次世界大戦への参戦の背景について日本の帝国主義政策と関連づけて理解する。 	
		②シベリア出兵	<ul style="list-style-type: none"> 日本のシベリア出兵の目的と結果について学習する。 	
	期末考査	③ベルサイユ体制	<ul style="list-style-type: none"> 日本のベルサイユ体制のもとでの位置について理解し、次第に欧米諸国と対立していった過程について学ぶ。 	
		④三・一独立運動	<ul style="list-style-type: none"> 三・一独立運動の原因と結果、および日本の植民地支配の動揺について理解する。 	
	学年末考査	①山東出兵	<ul style="list-style-type: none"> 金融恐慌・昭和恐慌などの経済危機を打開するための軍事行動である山東出兵の意味について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 行動観察 ノート提出 グループワークの取り組み 発問評価 小テスト プリントによる提出課題
		②満州事変	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌と満州事変について関連づけて理解する。 柳条湖事件が関東軍の謀略によって引き起こされたことについて理解する。 満州国の建国と国際連盟からの脱退が日本の孤立化をもたらしたことについて考察する。 	
1	6 アジア・太平洋戦争	①日独伊三国軍事盟	<ul style="list-style-type: none"> 三国同盟と戦時下の国民生活について戦争の時代の思想・経済統制について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査
		②南進政策と対米交渉	<ul style="list-style-type: none"> 南進政策がアメリカの態度を硬化させ日米交渉が困難になっていったことについて理解する。 日本がアジア・太平洋戦争を引き起こすことになった原因について学ぶ。 戦争の実態と特徴について当時の兵士の証言や残されている映像から理解する。 戦争責任問題と戦争防止の方策について考える。 	
		③アジア・太平洋戦争	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P104～223 	
			<ul style="list-style-type: none"> 教科書P224～236 	

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身に付けているか。
思考・判断・表現	地理的条件や世界の歴史と関連付けて学習を進めるとともに、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、現代の諸課題に着目して考察しているか。
資料活用の技能	主体的な歴史学習を行い歴史的思考力を育成するとともに、現代の日本と世界についての課題意識や思考力・判断力・判断力等を養おうとする技能を身に付けているか。
知識・理解	現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、現代の諸課題を理解し、対策のための知識や自身の意見を身に付けているか。

4 評価の方法

関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> 授業の前に必ず、教科書・資料集・ノートを準備しておくこと。 教師の説明をしっかり聞きノートをきちんと、とりプリントに記入すること。 教師の発問に対して積極的に答え、わからないことについて質問をするように心がけること。 提出物（ノート・プリント等）を期限厳守で必ず提出すること。
